

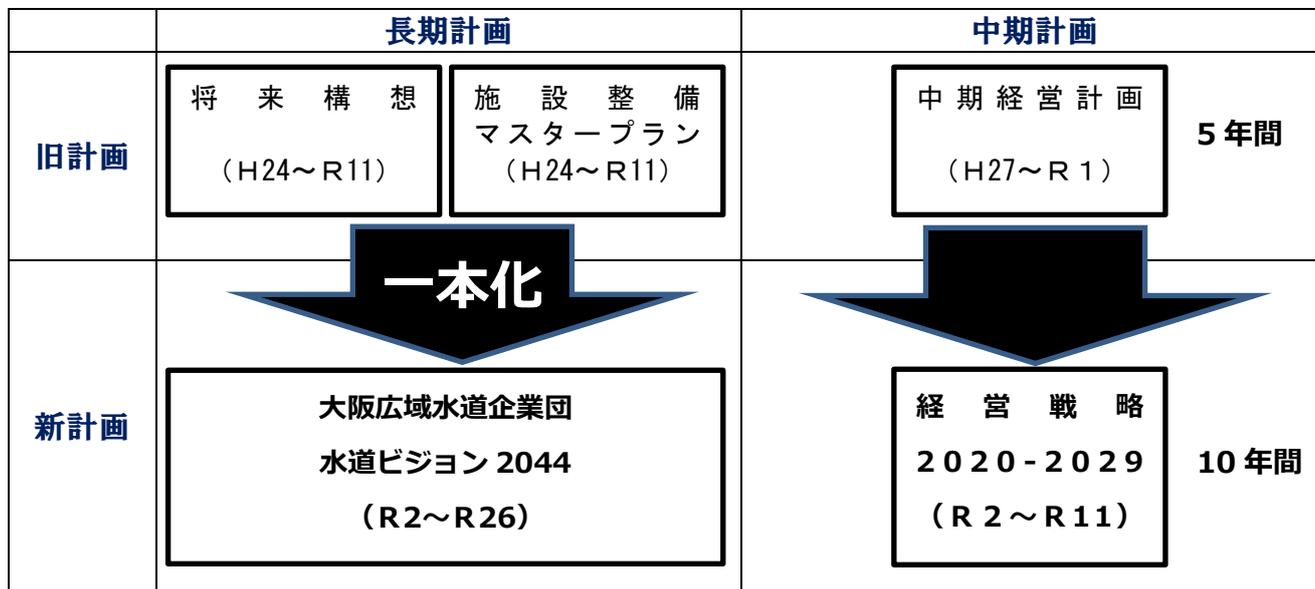
大阪広域水道企業団 水道ビジョン 2044（仮称）及び 経営戦略 2020-2029（仮称）の策定について

【概要】

- 企業団では、平成 24 年 3 月に企業団のめざすべき将来像と、実現への方策等を示す大阪広域水道企業団 将来構想を策定するとともに、長期的な施設整備計画である施設整備マスタープランや、具体的な行動計画である中期経営計画を策定し、安全で良質な水の安定的供給に向けた事業推進に努めてきたところである。
- この間、企業団設立の趣意である府域の水道事業の広域化を推進する中で、平成 29 年 4 月には四條畷市・太子町・千早赤阪村、平成 31 年 4 月には泉南市・阪南市・豊能町・忠岡町・田尻町・岬町のあわせて 9 市町村の水道事業を承継した。
- また、国による平成 25 年の「水道ビジョン」策定以降、各事業体においても独自の水道ビジョンや、中長期的な経営計画である「経営戦略」の策定を求められるところとなり、平成 30 年には改正水道法が成立するなど、水道事業を取り巻く環境は大きく変化してきている。

企業団の事業運営における今日的課題に的確に対応し、将来にわたって持続可能な水道事業を運営していくため、新たに「水道ビジョン 2044（仮称）」及び「経営戦略 2020-2029（仮称）」を策定する。

【計画体系図】



【今後の予定】

- 構成団体（市町村）への意見照会や審議等を経て、素案を作成【～10月】
- パブリックコメントの実施【11月上旬】
- 経営・事業等評価委員会で審議【11月下旬】
- 運営協議会における審議等を経て成案化【12月下旬】
- 経営・事業等評価委員会で審議・意見具申【1月上旬】
- 首長会議、企業団議会への報告及び審議を経て3月に策定